

2015 年度第 2 回 日本学連幹事会 議事録

開催日時：2015 年（平成 27 年）9 月 22 日（火）

開催会場：筑波大学構内（茨城県つくば市）

－議題－

1. 地図会計について
2. 新機軸事業について（地図事業について）
3. 新機軸事業について（渉外活動について）
4. インカレリレー女子選手権について
5. インカレ一般クラスのすみわけについて
6. 目安箱について
7. インカレロング女子選手権競技者数について
8. インカレ選手権枠の配分方法について
9. 理事会報告
10. 各部局活動報告
11. 地区学連活動報告
12. 次回幹事会について

－出席者－（敬称略）

氏名	役職	学校名
山川 克則	副会長	東京大学卒
海老 成直	理事・インカレミドル・リレー担当	中央大学卒
齋藤 翔太	理事・地図会計担当	一橋大学卒
池田 純也	2015 年度インカレミドル・リレー実行委員長	京都大学卒
五味 あずさ	幹事長	金沢大学
村瀬 貴紀	副幹事長	筑波大学
大久保 宗典	会計	東京大学
築地 孝和	事業部長	神戸大学
田中 悠	広報部長	慶應義塾大学
新粥 文哉	事務部長	千葉大学
細 正隆	普及部長	東北大学
橋場 良太	渉外部長	東北大学

田口 茂樹	会計監査	岩手大学
田中 基成	会計監査	筑波大学
藤田 麻矢	北東学連幹事長	岩手大学
田中 求	北信越学連幹事長	金沢大学
小泉 知貴	関東学連幹事長	慶應義塾大学
石山 良太	東海学連幹事長	名古屋大学
松浦 友佑	関西学連幹事長	大阪大学
下江 裕貴	中四国九州学連幹事長	広島大学

議事録作成：田中 悠（広報部長・慶應義塾）

この議事録において、特に断りが無い限り

学連 日本学連

加盟員 日本学連の加盟員

の意味で使用することとする。

時間の無い方は各項目の (i) 背景、(ii) 議論の概要、(iii) 結論 をお読み頂きたい。

1. 地図会計について	
<p>－背景－</p> <p>現在、学連地図会計やインカレにおける業務委託に関する取り決めが未整備な部分がある。特に、YMOE 社を専属業者としてインカレの地図印刷を委託することを定めた、指定管理専属契約に関しては草案を作成中である。</p>	
<p>－議論の概要－</p> <p>指定管理専属契約に関して、学連地図会計担当理事である齋藤氏及び指定管理者である山川氏から報告がなされた。</p>	
<p>－発言内容－（敬称略）</p>	
山川	<p>以前から地図会計について齋藤氏とのやり取りが進んでいて、地図会計の手続きについての骨格については決まった。他には指定管理専属契約の文章の草案をやりとりしていて、それは今回幹事会で提示する段階までは進んでいない。</p>
齋藤	<p>現段階としては、運用はまだなされていないが地図会計についての手続きの形は定まった。学連所有の地図を販売する際は山川氏(YMOE 社)が全部責任を負い、インカレの地図印刷も山川氏が行っているが、インカレの地図印刷を山川氏に委託するということは、現段階では契約に盛り込まれていない。</p>
山川	<p>その点について説明を加えると、ジェネシスマッピング社があった頃はメダル、レプリカ、プログラムをすべてジェネシスマッピング社で発注していて、なぜすべてジェネシスマッピング社で発注しなければならないのかという議論があった。4,5年前ジェネシスマッピング社が無くなり YMOE 社となった時にメダル、レプリカ、プログラムを委託することはやめて、地図は委託内容に残した。インカレの際の地図を YMOE 社に委託するという事は契約書に明文化されているが、その他のメダルなどの扱いはきちんと条文化すされておらず、この話が挙がっている。また、今回作成している指定管理専属契約書には、なぜ YMOE 社が責任をもって地図を提供しなければならないのかについても明文化し、形式上においてもしっかりとした地図の供給体制を整えたい。文章の草案作りは幹事会での議論ではなくて、齋藤氏や自分や他のインカレ実行委員レベルで話そうと思う。</p>
齋藤	<p>皆さんに知っておいてほしいのは、ジェネシスマッピング社が存在していた時にはインカレの地図印刷以外に、メダル、レプリカ、プログラムの発行など誰にでもできるようなことまでジェネシスマッピング社に委託していた。ジェネシスマッピング社が無くなった時に本当に委託が必要なことだけを委託して、それ以外はインカレ実行委員会ごとで自由にやろうという話になった。必要なことのみ委託し、他は実行委員会の裁量に任せるということが明文化された契約書が実は無く、その状態が4、5年続いてしまっているのでここでしっかり明文化をしたいと思っている。インカレ後に落ち着いたら検討し、次々回の幹事会で案をきちんと示せたらと思う。プロにお願いすることはしっかりプロに委託して、それ以外については柔軟性をもたせるということ</p>

五味	明文化し、契約書の内容に盛り込みたい。実際インカレのプログラムの印刷会社は年々で異なっている。以上の内容がまだこれから整備しなければならない事項である。では次回までに契約書の作成をお願いしたい。
----	---

2. 新機軸事業について（地図事業に関して）	
<p>－背景－</p> <p>学連が保有する資産を基にして外部業者に地図作成を委託し、学連名義の地図を作成するという新機軸事業が現在展開されている。委託業者(YMOE社)から提出された事業計画書及び見積書について、学連が承認した場合に委託契約が成立することとなっている。委託業者から提出される書類は、幹事会の事前に提出されなければならないと規定されている。</p>	
<p>－議論の概要－</p> <p>前回幹事会では、委託業者からの資料の事前提出が守られず審議できなかったが、今回後追い承認としてKOLC大会に関する地図事業について審議を行った。また、地図修正調査に関する見積書について審議が行われた。</p>	
<p>－結論－</p> <p>KOLC大会に関する地図事業についての予算執行が承認された。</p>	
<p>－発言内容－（敬称略）</p>	
齋藤	この新機軸事業の話について、今回は幹事会の事前に地図事業計画書(以下書類)が出されているので、この書類に基づいて皆さんに事業の内容を審査してもらいたい。
山川	前回の書類4部を簡単に作り直した。KOLC大会について2部、日光の修正調査について1部、矢板の修正調査について1部。前回は矢板の書類上で数字が間違っているのではないかと会計に指摘されたので、その部分は赤で直してある。その他修正した部分も赤で書いてある。前回幹事会では当日に書類を提出したため(幹事会で審査する事前に提出しなければならないという)規約を順守していない形となったが、今回は前回幹事会で(修正前の)書類を提出し、かつ今回幹事会の前日には(修正後の書類を)提出しているので問題は無いと認識している。今回の審議・質疑応答で承認をお願いしたい。
齋藤	話の整理のために、そもそもこの新機軸事業に関する議論がどう始まったか説明する。学連所有の地図を作成するときには学連が地図業者に対してお金を払うわけであって、これから学連がお金を出していくということにあたってはしっかりとした基準がほしい、調査業者の言い値でお金を払っていくわけにはいかない、ということから新機軸事業に関する議論が始まっている。現在は基準が無いので、地図規約に定める書類提出を重ねていくことで審査基準を積み上げていくということが現段階での取り組みである。
山川	その取り組みの流れを示したフロー図をExcelの資料としてあげている。
齋藤	その流れに従って地図業者に書類を提出してもらっている。地図事業の一番の審査基準になってくのが1ha当たりの単価であると考えていて、今回のKOLC大会で言えば、1ha当たりの単価は4500円ということになっている。前回の筑波の大会の時は、6000円という単価であった。これから事業に対してお金を払っていくのにあたって、例えば今の例でいうと単価1500円の違いは何なのか等のことを幹事会の場で説明してもらい、皆さんに納得してもらおうという形で進めていきたい。では今回のKOLC大会に

	ついて山川氏に説明をお願いしたい。
山川	そもそも筑波大大会等の価格基準は、新機軸事業を立ち上げた時の毘沙門山の調査においてほとんど言い値の120万円で引き受けて、2人に外注した結果自分自身の給料が出なかったことから、120万円より少し多くして160万円と設定したものである。理屈については後から肉付けしたものはあるが、今回の地図は従来の地図に比べて調査面積が広く金額も上がりそうだが、下見の段階ではかなり藪が発達していて使えない所が多いので、筑波大大会の時と千葉大東工大大会のときの160万円をあまり超えたくないという思いもあり、今回のKOLC大会については160万円で打ち切りとしている。
齋藤	まず聞いてみたいこととしては、今回は面積385ha、前回の筑波大大会は272haとあるが、これは市街地の面積も含むものなのか。
山川	市街地の面積も含むものである。
齋藤	実際に山の面積と市街地の面積の割合はどのくらいか。
山川	民家(市街地)の割合は2つともほぼ同じ。
齋藤	何割くらいか。
山川	1割5分くらい。基本的には、希望ヶ丘の時などのような再見積もりは避けた。今回は面積が大きい提供する大会はミドルと決まっているので、使えるところから調査を行い、ある程度のところでは藪の発達したところは調査を打ち切る形にして385haは調査を行わないかもしれない。
齋藤	そうすると、競技に必要な部分での1ha当たりの単価はどのくらいになるか。
山川	それはまだわからない。
齋藤	こだわりなどは分かるが、実際に競技に使わないところ以外を調査する必要性を説明してもらえないとその部分のお金は出せない。
山川	基本的に、使えない所は切るつもりで考えているが。
齋藤	そうすると、実際に切る面積も出してもらわないといけない。
山川	しかし、どこを切るかはまだ決まっていない。
齋藤	大体で良いので予め出してもらいたい。必要ない部分の面積まで入ってきてしまうと議論が難しいので。
山川	(現段階で必要ない面積は出せないが)160万円で引き受ける面積は、前回の筑波大大会の地図の面積程度にはしたい。
齋藤	160万円で調査する最低限の面積としては民家も含めて300ha程度ということで良いか。
山川	そのくらいでお願いしたい。報告書できちんと面積を出す。今後は山川ハウスの拠点があるので先の見通しを立てて話ができると思う。KOLC大会に関しては市街地面積を含めて270~300ha程度できちんとしたミドルを提供できる地図を目指している。
齋藤	そうすると前回の筑波大大会は272haに対して単価は6000円、今回のKOLC大会は面積が増えているのに単価は4500円と下がっている。実際に最低限使う面積は両者とも同じくらいという基準はあったかと思うが、今回の1500円の単価の違いはどのようにと

	<p>ころから来ているのかが気になる。</p>
山川	<p>KOLC 大会は筑波大大会より面積が広がるので、打ち切りの 160 万円に合わせるために、書類上では単価を下げたという認識で大丈夫。基本的には使える面積を 6000 円でやっていくという認識でお願いしたい。</p>
齋藤	<p>場所による単価の強弱はつけるにせよ、使える部分については 1ha 当たり 6000 円が妥当ということで良いか。</p>
山川	<p>それをお願いしたい。</p>
齋藤	<p>皆さんに向けて話をすると、最終的にこの事業を判断していくにあたって、単に 160 万円という価格が妥当だから払うのではなく、今回の事業が学連で 160 万円払う価値のあることなのか判断するということが重要。その一つの基準になってくるのが、お金を出すからにはどれくらいお金が戻ってくるかということ。山川氏の提出した資料によると、今回大会では 600 人程参加すると見込まれている。地図 1 枚当たりの価格は 700 円として計上されていて、150 円は山川氏 (YMOE) の印刷費となるので、学連に入ってくるのは 550 円となる。そうすると、学連の初年度の売り上げは 550 円×600 人で、33 万円にしかならない。160 万円から 33 万円を引くと、初年度に戻ってこないお金は 127 万円となる。資料の下を見ると、この地図の売り上げで年間 10 万円を見込んでいますが、これは単純に考えてこの事業の元を取るまで 13 年かかるということ。このお金の問題と、今回の KOLC 大会をやる意義を勘案して、加盟員から集めた 160 万円を使うに値するかどうか皆さんに考えてほしい。今回は後付けの議論とならざるを得ないが、この点について話していきたい。この点を考えるにあたって疑問等がある場合は、この幹事会の場で事業者質問してもらえればと思う。</p>
山川	<p>今の話の理論的な肉付けをする。例年 3 月に指定管理の契約に基づき地図収入等のデータを報告しているが、それを見ると千葉大東工大大会を行った一昨年はそれぞれ調査代 120 万円と 160 万円を支出しても、学連の地図売り上げはそれを少し上回った。</p>
齋藤	<p>超えたというのは具体的にどういう意味か。</p>
山川	<p>学連が新機軸事業として YMOE に支払う金額より、YMOE が学連に代行して行う地図販売の売り上げが多くなったということ。昨年度学連としては、新機軸事業の筑波大大会の調査費を支出したが、地図売り上げと相殺して決算を出すと地図売り上げの方が多くなった。大きな企業でも売れる商品、売れない商品があって、トータルで収益を得る戦略を打つ企業がある。私の方もそれと似たように、学連が投資をして沢山地図を作り、全体がうまく回れば良いと考えている。1 つ 1 つの事業が赤字になるという細かい議論で活動が制限されるようなことは無いようにしたい。一番売り上げがあるのは不動産の滝や日光和泉、例幣使なので、そういう所から出てくるお金を使って筑波大や KOLC のようにクラブを盛り上げるために使うことは意義があると考えている。単にこの地図事業の元を回収するのに 10 年以上かかるという議論だけで済ませたくはないと考えている。</p>

齋藤	今の話は非常に説得力があると感じる。地図事業単体ということではお金がかかるが、矢板地区全体で見れば、ラインナップが整備されることによりみんなが合宿等に来てもらえるようになって、学連全体の地図売り上げとしては収入が増えるということなので長期的目線で見れば今回の事業は意味があるというのが、事業者の説得である。他の人は何かあるか。
大久保	ちなみに昨年地図会計の黒赤について参考までに言っておくと、昨年は地図収入と千葉大東工大大会や筑波大大会、日光の修正調査、山川氏の渉外費用をすべて含めて14万1500円の赤字だった。
齋藤	渉外費はどのくらいの額なのか。
大久保	3万5000円。この額は渉外部に充てる費用の中で、山川氏と渉外部長を分けて計上したもの。渉外部全体では8万2000円。
齋藤	それほど大した額ではない。実際に新機軸事業(千葉大東工大・筑波大大会)2回を行っていることを考えると、相当な額の地図収入があることは分かった。
大久保	地図収入は170万円弱であった。
山川	学連のWebを見てもらえれば、地図収入などの報告は載せてある。他に質問等はあるか。
小泉	今後も新機軸事業は矢板を中心に展開していくということで良いか。
山川	そうしたい。矢板地区のラインナップを整備するという山川野望図(構想)に従っていきたい。
新粥	その野望図については、説明してもらえるか。
山川	学連Webのトレイン案内図で、まだ着手していない所を含めたものとなっている。
齋藤	ちなみに今回の必要額は資料を見ると160万円ではなく、173万円が正しいのではないのか。
山川	それは削って160万円にしたいということ。
齋藤	資料には調整額“-2500円”と書いてあるが、これは正しいのか。13万円も削るといふことであれば問題は無いのだが。
山川	ミスである。13万円も削るといふ認識でお願いしたい。
齋藤	記述欄を用意していないのも悪かったが、KOLC大会をいつ行うかという記述が書類に無いので、書いてほしい。記述が無いといつまでにどうすれば良いかを考えることができないので。
山川	11月29日でお願いしたい。
齋藤	また、競技地区の地図を提示する時は縮尺もお願いしたい。もっと拡大図で良く、町の中でこれくらいの範囲というのが分かればよい。
山川	A4で1:10000の縮尺で表示すれば分かりやすいだろうか。
齋藤	それが一番分りやすいのでお願いしたい。
山川	また、来年新機軸事業第5弾を考えているので、3月の総会で提示したい。
五味	来年の秋くらいにやるということで良いか。
山川	そうである。3月の総会には出したいので。

大久保	そうすると、1月の幹事会には提示しないといけない。
齋藤	事業開始時期にもよる。いつから調査開始の予定か。
山川	春先になるべく早めに着工するという事しか現段階では考えていないが。
齋藤	金額次第だが、幹事会決済ならば次の3月の幹事会で確実に決済を取らないといけない。3月の幹事会でいきなり新機軸事業の書類を提出されると議論に困るので、2週間くらい前に提示してもらえると3月の幹事会で決済することも可能かと思う。書類を幹事会当日提出することを考えているならば、1月の幹事会で提示して3月の幹事会で決済という形になる。
村瀬	600人という参加者は何を根拠にしているのか。筑波大大会は400人程度だったが。
小泉	今年は春インカレが矢板ということもあることを考慮して、希望も入るが600人の見込みとした。
五味	600人は、過去大会でいうとどの大会の参加者実績を基準にしたものか。
小泉	特には無く、基本的に山川氏の提示した数字だが、インカレトレインと関係のない筑波大大会で400人弱だったので、春インカレトレインに近いトレインで開催するKOLC大会は600人程度を見込めるのではないかという考え。
新粥	千葉大東工大大会はインカレの隣のトレインで480人ではあった。
五味	そのことを加味すると、インカレがあるからといっても500人程度が妥当ではないか。この数字は見込みが含まれていて妥当性がある数字ではないと思われる。
山川	そういう意味では600人はかなり希望的な面があるので、修正でお願いしたい。
齋藤	また、当日の地図販売分の収入見込みも記載した方がより会計がクリアになって良いかと思う。
山川	OC大会から実績値は見積もっているので記載したい。
齋藤	矢板での合宿等は年間でどのくらいあるのか。延べ何団体トレインに入る等のデータもあれば、地図販売見込みの数字の信用性が上がると思う。
山川	毎年3月に出す実績報告書にデータがあるので見てもらえれば、その回答は出せる。
齋藤	次回はそのような説明も含めてお願いしたい。何か他に無ければ決済に移った方が良いと思うが。
五味	では決済に移りたいと思う。KOLC大会に関する地図事業160万円の幹事会決済を承認する幹事は挙手をお願いしたい。(→挙手多数)では賛成多数で可決とする。
齋藤	次に修正調査の話だが、幹事会決済を行わずメーリングリスト内の話で先に20万円だけ調査を行うことを決めて、その後必要があれば追加で調査を行うというのは承服できない。20万円ありきで話を進めては基準も蓄積されない。今回の修正はそもそも何の地図で、何年に最初に調査され、最新の修正がいつ行われ、今回どのような修正が必要なのかという所まで提示してもらえないと話が行えない。
山川	それを3月の段階で全部言えないので、いいシステムは無いかという逆提案を幹事会に持ってきたのであるが。今度の関東学連ミドルセレのトレイン決定は関東学連から9月まで待ってくれとの要望があり、ついこの間決まったばかりで、修正を依頼され

	たのもその時であった。それを予算執行するにはどうしたらいいかを考えたい。
齋藤	20万円の範囲内なので、幹事会決済ではない。
山川	20万円の範囲でやり切るだけのことをやりたいと思っているのだが。都度報告すれば良いのか。
齋藤	報告ではなく、事前に申請をしてもらえれば良い。とにかく申請に際して、どういう作業を想定していて、何日程度かかるのかということを提示してほしい。こちらとして避けたいのは、無いとは思いますが、例えば2,3日少しだけ調査するだけで良い修正事業に20万円を払うこと。山川氏とこちらだけの間の話ではないのでしっかり提示をしてほしい。メールでやり取りできる話ではあるので、急ぎであれば1週間程度で対応は可能である。とにかく20万円ありきではなく、今回の修正調査はどのような内容で、何日かかる見込みだから価格はこうなるというように提示をしてほしい。
山川	資料の出し直しという形で良いだろうか。
齋藤	今回は主に修正調査の資料提示についての認識の確認という形で、今回修正調査を行う地図を最初に作ったのがいつで、その後何年に修正調査が入って等の情報は入れるということをお願いしたい。基準の蓄積を行いたいので。その点については個別にメールで問い合わせることとしたい。
山川	例年通り修正調査に関して、20万は使用するという報告とさせていただきたい。

3. 新機軸事業（渉外活動に関して）

－背景－

独自の地図調査によらず学連の地図事業を利用して大会を開催する新機軸事業において、地元渉外に関しての問題点が生じている。前回幹事会において、筑波大学から次の7項目を含んだ取り決めを学連の方で作ってほしいとの提案があった。

新機軸事業における地元渉外に関して

- ①地元渉外を誰がどのように行うか。
- ②地元渉外の経費は誰が負担するのか。
- ③地元渉外は誰の名義で行うのか。
- ④新規やりメイクなどの場合によって①から③までの内容は変わるのか。
- ⑤開催者が地元渉外を行う場合、どのような内容の渉外を行うべきなのか。
- ⑥開催者が地元渉外を行う場合、学連と開催者はどのようなやり取りをするのか。
- ⑦開催者が地元渉外を行う場合、開催者にとってどのような利点があるのか。

－議論の概要－

前回幹事会では、実際の渉外活動資料を基に筑波大学が提示した7つの項目について検討すると決定されたことから、今回幹事会ではKOLC大会の渉外活動資料を基に7項目について検討した。

－結論－

- ①から⑥に対する幹事会としての意見は以下ようになった。尚、⑦については特に言及がなされなかった。
- ①基本的に地元渉外は学連所有の地図で大会を主催する大学が行う。山川氏が必ず会わなければならないと判断した人への挨拶には学連も同行する。
 - ②学連が地元渉外の経費を負担する必要は無い。
 - ③最初の下渉外の時点で、将来的にその地図を保有するのは学連であること、大会自体は学連ではなく大学が主催すること、の2点を地元伝える必要がある。また、地元への連絡文書には学連の名前も明記する必要がある。
 - ④新規でもリメイクの場合でも①から③の内容は変わらない。
 - ⑤学連が後援した大会を主催した大学には、渉外活動に関する報告書を事務局に提出してもらい、その報告書を集積し公開することで渉外活動の手助けとなるようにする。その実現のために話を進める。
 - ⑥地元へ提出する書類は、事前に学連渉外部に提出し確認を取る必要がある。また、問題があった場合など、主催大学は大会後に渉外に関する報告書を提出する。

－発言内容－（敬称略）

五味	新機軸事業の渉外に関しては、学連渉外と KOLC 大会渉外の資料を挙げてもらった。前回の幹事会で話し合ったのは、学連の渉外と、新機軸事業における各大学の渉外の区分・責任の在り方についてだった。渉外の区分や責任の在り方について形を成立させたい。前回幹事会で決定したことは、現状の渉外活動の内容をまとめた後、筑波大学が挙げてくれた 7 項目について検討するということであった。まず、渉外の内容をまとめるという意味で KOLC 大会の渉外内容を確認したい。KOLC 大会の渉外の活動報告で、大会の渉外である部分と、地図の渉外である部分の明確化をしたい。ここで考えてほしいのは、学連に関わってくるものをピックアップして、その内容のうちどこまで各大学に任せるのか、そのことについて学連がどのように責任をとるかについて決めたい。
齋藤	活動報告書を見ると、特別学連が関わっているものはあまり無いように思える。例えば、依頼の文書等で今回の大会に関する地元への連絡は大会側で行い、それ以降の連絡は学連がやるというように分ける必要はあると思う。
山川	将来のトレイン利用に関わる挨拶等は、1 回目は山川も同行して行っている。それ以降は大会側に任せている。
五味	大会当日にオリエンテーリングを行うという連絡等の渉外は学連が行うものではないということであると、山川のいうような下渉外が主に学連に関係するものということになる。
山川	後は大会に関係するものである。事後利用がある場合は大会が終わってからでも現地に行く。地図を作った以上責任を取らなければいけないので。
齋藤	山川氏として、どの渉外内容については学連が行った方が良い等ということはあるか。
山川	地元で回覧板を回すような事務作業は渉外部が関わる。
齋藤	直接顔を合わせる必要はないということか。
山川	不在の場合は、連絡物をポストに投函するだけの時もある。
齋藤	必ず会わなければならない人というものがあると思うが、そこはどうなっているか。
山川	重要なところはアポイントメントを取って必ず会う。
齋藤	話の限りだと、最初の 1, 2 回同行するのは必ずとして、それ以降はメールや地元への連絡文書で大会と学連の連名にすることや、大会が終わった後の連絡先を明記するなどといったことはした方がよいと思うが、学連が関わる内容はその程度かと思う。
小泉	逆に、その 2 点をしっかり行えば学連としては良いと思う。
五味	下渉外の際は学連が関わるということと、学連の連絡先を下渉外の時や今後の挨拶の際に地元へ伝えるということ、の 2 点を学連としては行えば良いということが KOLC の報告書から言える。だから、前回幹事会で筑波大学が挙げてくれた 7 点の取り決めの作成について、①の地元渉外を誰がどのように行うかに関しては、基本的に地元渉外は学連所有の地図で大会を主催する大学が行うということと、山川氏が必ず会わなければならないと判断した人については学連渉外が赴くということに記載すれば良いの

	<p>ではないか。②の地元渉外の経費を誰が負担するのかということについては、学連が負担する必要はないと言える。また③の地元渉外の名義は誰の物で行うかということに関しては、最初の下渉外の時点で、将来的にその地図を担当するのは学連であるということと、大会は大学側で行うということを経元に伝えてもらう。地元への連絡文書には学連の名前も明記させる必要がある。</p>
齋藤	<p>学連の名前を入れて配るのであれば、書類を地元へ送る前に学連の方でも資料内容を共有しなければならない。</p>
五味	<p>④の新規やりメイクの場合によって①から③までの内容は変わるのかということに関しては、変わらないということで良いか。(→賛成多数)⑤の開催者が地元渉外を行う場合、どのような内容の渉外を行うべきかについては、その大会に必要なことを各自やってもらうということになってしまうが。</p>
山川	<p>格式ばらなくても、どこに挨拶するかということは、都度山川が指示するので良い。</p>
五味	<p>では、重要なのは⑥の開催者が地元渉外を行う場合、学連と開催者がどのようなやり取りを行うかについてだと思う。先ほどの話だと、学連の著作権の地図を使って大会を開催するのであれば、地元渉外についての書類を学連の渉外部に逐一提出するということと、書類には学連の名前を明記するということが良いと思うが、それ以外に大学と学連のやり取りで考えられるものはあるか。</p>
山川	<p>競技情報等もあるので、その都度起こる具体的な問題については山川が相談を受けるし、大会が終わったらきちんとした報告書を出せば良い。</p>
五味	<p>⑥の取り決めに関しては、渉外書類の事前提出及び書類への学連の名前の記載、事後の報告書提出の3点を記載するということが良いだろう。⑦については特に言うことは無いと思うが。では、前回幹事会で筑波大学が挙げてくれた7項目について、以上のまとめた内容を取り決めとしたい。何か反対意見はあるか。</p>
村瀬	<p>⑤についてだが、どのような内容を行うかということについては、基本的に大会を行ったことが無い大学向けに、ベースがあった方がと良いという意味で筑波大学は議題をあげていると思う。今は山川氏がいるので地元渉外について色々指示をもらえるが、山川氏からアドバイスがもらえないような状況になったらどうするかを考えなければいけない。</p>
齋藤	<p>渉外活動は、この地区はこのように行わなければならない等、地区ごとに異なるものではないと思うので、むしろ大会を行う大学から渉外についてどのようなことを行ったか情報を集めて、地元渉外で何をすべきかについて検討していけばよいと思う。情報を収集・集約して、整理すれば全国の大学が参考にできる資料ができると思う。</p>
山川	<p>今回のKOLC大会の件で言えば、筑波大学が残してくれた詳細な資料が役立っているし、部内まとめの資料については東大OLKからの情報が役に立っているようだ。みんな横のつながりを持ってやっていけば良いと思う。</p>
小泉	<p>出来れば地元渉外についての参考資料はあった方が良いと思う。自分たちも大会を開</p>

	く際に、渉外の内容について何一つ分からない所から始まった。筑波大学から大会資料や大会報告書をもたらしたので何とかなっている。他の大学でも、大会を始めたいとなった時に同じような悩みを抱えると思うので、学連として提示できる資料はあった方がよい。新機軸事業を使わないで大会を開こうと思ったときにも役に立つと思う。
五味	新機軸事業に限らず、大会を開くのにためになるものを学連が提供した方がよいということはある。
橋場	渉外データベース的に各大会報告書を蓄積していくことはできる。
田中(基)	大会の報告書をきちんと作って、共有できるだけで十分良いと思う。
五味	ただ、後援をしていない大会でただ加盟員だからというのはどうか。
新粥	後援申請を行っている大会のみで良いと思う。
五味	学連が主に関係していないのに報告書を提出しろというのも違う気がする。それでは⑤のどのような渉外を行うかについては、後援申請をした大学には報告書を提出してもらい、申し入れがあった場合には公開できるということで良いだろうか。
小泉	申請が無くても、Web等に掲載して良いと思う。
山川	問題ない物は誰でも見られるようにしておけば良い。
大久保	個人情報などは書かないようにしてもらえば。
村瀬	担当者の連絡先を入れておけば、直接質問することもできる。
新粥	これは義務付けるのか。
田中(基)	義務付けた方がよいと思う。学連側としても、後援している大会がどのような状態であったかが不透明であるのは良いことではない。
小泉	確かに、後援しておいて各大会の情報を何も知らないというのもあるし、後援するからには何かしら大学側からのバックがあっても良い。
村瀬	バックするのと、公開するのは別の問題だと思うが。
五味	公開すると困るようなことを報告書に書かなければ良いだけだとは思いますが。
橋場	公開しないと意味が無いと思うし、渉外の細かい内容まで報告を義務付けられるものなのかは疑問である。加盟員のためにやってもらうことだから、お願いするという形の方が良いと思う。
新粥	次回総会で試しに、今まで報告書は特に問題が無い限り提出の義務はなかったが、今度からはある程度報告書として事務局に提出してほしいということを確認してみるべきか。
五味	全体の意思が必要ということか。
新粥	総会の場で各渉外に確認を取るのも良いかと思うが。
五味	報告書の内容によると思う。簡易でいいので後援した大学には事務局に提出してほしいということをメーリスか何かで流して、次の総会で意見を聞き、反対が無ければ提出をお願いすればどうか。義務付けるまではいかないが、こちらとしてはやんわり義務付ける程度だろう。
新粥	後援申請についての規約があるので、そこに開催後1カ月以内に提出といったことを

	書けば良いと思う。
五味	次の総会で決を取るという形で良いだろうか。
新粥	報告書の内容を公開するかについては、後援申請の書類に HP での公開を許可するかという欄を設けて、許可しない場合は他大学から参考資料が欲しいという申し出があった時には、報告書を提出した大学に問い合わせをするという具合に書くことができる。特に反対が無ければ、次回総会で決を取るということで進める。
大久保	質問だが、東大大会だと自分の手元には過去 7 年分くらいの資料があるが、これらのような資料も事務局に提出する必要があるか。
五味	その時点では、義務付けはされていないので提出の必要はないが、やってくれたら嬉しい。
小泉	提供という形で良いと思う。
新粥	ついであるが、現在後援申請が許可されている 9 月 12 日, 13 日の名相大会や 9 月 23 日の筑波大大会などは、報告書の提出は任意で良いか。
五味	総会の決議が終わってから後援申請があった大学に、報告書の提出を義務付けるとした方が規則としては正しい。また事務局は、後援申請した大学に渉外活動のデータベースを作ることになったことを伝え、報告書を任意で提出してほしいということを伝えてほしい。データの蓄積に役立つと思うので。
新粥	それは総会で決を取ってからで良いか。
五味	それをお願いしたい。新機軸事業については以上の内容として次に移ることとする。

4. インカレリレー女子選手権について	
<p>ー背景ー</p> <p>昨年度女子リレー選手権は3区間等距離のコースパターンであったが、今年度女子リレーに関しては2走の短いコースパターンを提供することも可能である。</p>	
<p>ー議論の概要ー</p> <p>どちらのコースパターンを採用するかについて、加盟員全体に投げかけて決めるべきかどうかを審議した。また、2つのコースパターンに対して幹事会としてはどう考えるかについても議論した。</p>	
<p>ー結論ー</p> <p>女子選手権リレーに関して、10/3(土)のスプリント後の総会までに、3区間等距離と2走を短くするコースパターンのどちらが良いかというアンケートを各渉外に流し、各加盟校で事前に意見をまとめてもらった上で総会にて決定する。</p>	
<p>ー発言内容ー (敬称略)</p>	
池田	<p>昨年度から議論にあったインカレミドル女子選手権のリレーのコースパターンについて、昨年度は実行委員会の都合上3区間等距離となったようだが、加盟校からの意見を聞くと2走が短い方が良かったのではと思う。今年度ミドルは準備を進めている段階だが、女子選手権の2走を短くするコースを提供することは可能と考えている。女子選手権の2走が短い方が良いか、それとも昨年度同様3区間等距離が良いかを幹事会や、もし可能であれば総会の場で聞きたいと思っている。昨年度の実行委員会からの報告書によると、運営の負担を減らすために3区間等距離が良いといった意見も見られるが、今年度に関しては、もしかしたら渉外の問題等で2走を短くすることができなくなってしまうことも考えられなくはないが、現段階で競技的には問題ないので学生の希望に合わせたいと思っている。</p>
五味	<p>では、決を取るのではなくて、幹事会としての意見を挙げて、メーリスでアンケートを取る等をして、総会の場で決定するといった形で良いだろうか。</p>
池田	<p>幹事会で聞いて、アンケートを取る必要もなく決められるのであればそれでも良いし、前回のこの議題に関しての幹事会や総会ではその場で決めたようだ。</p>
五味	<p>その時の加盟校の渉外がどう思っているかが反映される形になっていたと思う。</p>
池田	<p>それは少し渉外の人に責任を負わせすぎる面もあると思うので、特に問題が無ければ加盟校にもアンケートを取ってもらいたい。</p>
五味	<p>ひとまず、1点目は3区間等距離であることをどう思うか、幹事会に参加している人の意見を聞くことと、2点目としては幹事会としてアンケートをとることや、総会の議題として出すことなど、女子選手権リレーのコースパターンについてのこの議題を全体に投げかけるべきかどうかを考える、ということが挙げられると思う。後者の方はすぐ意見が出やすいと思うので、そちらから決めたい。この件について、各大学の意見を聞いた方が良いと思うか。意見を聞いた方が良いと思う人は挙手を願いたい。(→挙手多数) では、10/3(土)のスプリント後の総会までに各大学渉外にメーリスで女</p>

	子選手権リレーのコースパターンについてどう思うかというアンケートを流しておいて、事前に意見をまとめてもらった上で総会を行う形にしたい。3 区間同一についてこの場で意見を出した方が良いが、みなさんはどう思うか。
藤田	それほど強い意見は無いが、運営の方の負担が減るが良いとは思う。特に 2 走が短い方が良いとも思わないし、どちらでも良いというはある。
松浦	女子が少ない大学等、特に女子大以外で参加者を増やそうと思ったら、2 走が簡単なほうが良いとは思う。
小泉	昨年度 2 走の距離を統一して結果は変わっただろうか、大きくは変わっていないと思うが。
池田	報告書によるとあまり変わらなかったようだ。
小泉	とするなら、2 走の距離を変えても結果は大きく変わらなかったという事実は考慮すべきだと思う。トレインの状況等もあるので一概には言えないとは思いますが。
田中(基)	短くしてもしなくても結果は変わらないと思うが、短くした方がリレーとして競ることになるから見る方としては面白いと思う。
山川	結果が大きく変わるようなクラブには聞いてみれば良い。どうしても自分のクラブは 2 走が短い方が良いという所はあるのではないか。
池田	自分の大学では、1 区間でも短かったらゴールはできたのではないかという事例はあった。個人的な話ではあるが。
山川	ありがちな話ではある。
池田	人数の用意が難しいぎりぎりの大学というのは、完走が目標となってくるので、そこが改善されれば少し良いとは思う。
山川	希望は聞いてくれるということなので、きちんと言うべきだと思う。
池田	各大学の意見を聞く際は、3 区間等距離と 2 走の短いリレーパターンのどちらが良いかと、ある程度その理由の 2 点を聞いてもらいたい。
五味	一つ質問だが、この議題は下位層が完走するかしないかが重要な問題なのか。
池田	それは、加盟員がどう思っているかによる。
五味	上位層が真に 3 人のスピードを競うということを問題とするなら、2 走が短く。難易度が低いというのは、オリエンテーリングの技術のある人と無い人の差が出にくくなるため、上手い人が 3 人揃っている大学には不利になるのではないか。1, 2, 3 走で距離が同一だったら本来もっと差が出ていたはずなのに、2 走が短くて簡単だったから差がつかなかったとなれば不利だと思う。
池田	完走に重点を置くのか上位者に重点を置くのかということも含めて、加盟校全体で決めてほしい。インカレは上位者のためだけではないということも踏まえて考えてもらいたい。
山川	4 人制から 3 人制リレーに移行する時も同じ議論があった。男子リレーでは 4 人制リレーの最後の方の時期では、完走できない学校が 10 数校あった。それは一体どうなのだろうかということで、きちんと完走できる範囲で競技しようということになり 3 人

池田	制リレーに移行したという経緯があった。学生が決められること。 完走率を重視するのか、それとも競技性を重視するのかはある程度渉外の中でも別れると思うが、実行委員会としてはどちらでも対応可能なので、その部分は学生に決めてほしい。
五味	インカレまであと2週間もないので、今日中に渉外メーリスを流そうと思う。春インカレについては以上としたい。

5. インカレ一般クラスのすみわけについて	
<p>－背景－</p> <p>学生の競技レベルに応じて、適切に A, B クラスを選んでもらうことで本来の一般 A クラスに相応しいレベルを担保する。B エリート層のモチベーション維持を図り且つ、一般 A クラスが易しすぎるといふ不満を解消する。以上の目的を果たすために、インカレ一般クラスの棲み分けを明確にすることが提案され、ガイドラインの整備が進んでいる。前回幹事会では、一般 A クラス出走の目安をセレクションボーダー比 150%以内とすることが決定された。</p>	
<p>－議論の概要－</p> <p>ガイドラインの草案について、修正及び加筆事等がないかどうか議論した。</p>	
<p>－結論－</p> <p>ガイドラインは目安であるという趣旨の注意書きを加えることとし、加筆したガイドラインを幹事内メーリスに流して確認をとる。特に意見が無ければ、現在の形を正式なガイドラインとする。各加盟校にガイドラインを周知して、今年度インカレミドルから運用という形とする。</p>	
<p>－発言内容－（敬称略）</p>	
五味	<p>前回の幹事会で、幹事長が草案を作りそれを改定してガイドラインを出そうという話であったので、草案を作ってはみたがあまり上手くはまとまらなかった。この草案について何か意見をもらって、この場で幹事会としてのガイドラインを固めて、公開という形にしたいと思っている。</p>
池田	<p>インカレミドル MUA クラスの人が MUB クラスに移るということだが、どのくらいの人数が移動する想定でこのガイドラインを作っているのか。</p>
五味	<p>各学連によってばらつきがあると思うが、今のガイドラインを確実に守ったとして前回の関東のミドルセクション Ms1 クラスを例にすると、下 20 人程度が MUA クラスから MUB クラスに移ることになる。</p>
池田	<p>2 パターンあるので関東で 40 人程度ということで良いか。</p>
五味	<p>関東で 40 人程度が MUB に移ることになる。</p>
池田	<p>それは全国で合わせるとどのくらいになるか。MUA クラスの人が何人程度 MUB に移るかということが実行委員会としては気になる所で、B エリートが今年度から併設クラスを走ることになるが、その B エリートが入ってきた分程度は MUB クラスに流れてほしいといったところである。</p>
五味	<p>MUA の人数は変わらないということで良いか。</p>
池田	<p>MUA のパターンを 3 つで、1 パターン 90 人で合計 270 人にする場合を考えると、昨年の併設大会参加者を参考にして MUB は 60 人程度になる。</p>
五味	<p>しかし、この関東 40 人というのはセレクション参加者から考えた数で、セレクションに参加せずに MUB クラスに参加する層もいるかと思う。</p>
池田	<p>このガイドラインだとセレクションに参加していない人は MUB に出てもらおうということなのか。</p>

五味	その人の実力が、セクションボードの 150%以上のタイムがかかると判断した場合は B に出てもらおうということである。
海老	実行委員会としては MJB には 60 人程度が流れてほしい。それ以上 B が増える分には構わない。
池田	A クラスの難易度を担保するにあたり、テレインの制約もあって MUA を何クラスも用意できないということが理由である。
五味	全員がこのガイドラインを守ったとすると、B クラスは 60 以上にはなると思う。
海老	その程度であれば大丈夫だと思う。
五味	草案に関して、これはガイドラインであり目安であるといった趣旨の内容を書くか書かないかを悩んでいる。目安であることを書くとなると、ガイドラインが軽んじられる面もあるのかもしれないという思いもある。
小泉	ガイドラインの 0. の項目のところで、大会実績目安を提言すると書いてあるので特に書かなくてよいとは思っている。この内容を渉外が理解した上で、申し込みの際に、例えばあなたは 150%の基準を超えているからできれば B クラスにした方が良いのではないかと等と渉外がきちんと言えれば良いと思う。
大久保	渉外にそれを守らせることが難しいと思う。ガイドラインがあるけど、今までこんな無かったから守らなくても別にいいや、みたいなことになることがあり得る。
池田	別にいいや、とってインカレに来られるのが一番困る。
小泉	(実力が足りてないのに走ると)困るようなコースになっているから A クラスはやめた方が良い、ということを経外が説明できるようであった方が良い。
五味	全体として、提言の下にこのガイドラインは義務でなくて目安であるということを書くか、書かないかという問題があるが。書いた方が良いという方は挙手を願いたい。(→半数程度) これは分れるようだ。
大久保	そもそもガイドラインと書いてあるから、書かなくても良いというのはある。
五味	書いても軽んじられないならば、書いて良いはずだと思う。
小泉	確かにそうだと思う。書いておいて、後は幹事長と渉外の手腕だろう。
大久保	幹事が圧力をかける程度で良いとは思っている。
五味	確かに、最初の方は幹事が圧力をかけるくらいでないと浸透しないかもしれない。
小泉	1 回流れに乗ればなんとかなると思うので、この 1 回目をどうするかが問題だと思う。
五味	ひとまず、1. の項目の下にこれはガイドラインであるという注意書きを入れるということが良いだろうか。(→反対意見無し) では、さらにそれを加筆した文章を挙げたい。
池田	そのガイドラインは、次回総会で決めるのか。
五味	次回総会で提示する予定である。
池田	春インカレについて、要項 2 が申し込みの内容を書いた要項になるが、直接では無く URL という形でこのガイドラインを載せたい。
海老	そのガイドラインに沿ってコースを組んであるということを提示したい。

五味	要項の時点で、このガイドラインを公開してもらえると普及につながると思う。話は戻るが、ガイドラインの文章自体はこれで良いだろうか。
田口	北東はセレクションを2回行うが、片方は150%以上で片方は150%以内などという場合は通してAクラスとして良いのだろうか。
五味	ガイドラインであるので、その150%以内の実力相応が認められるかどうか重要である。2回ともペナでも、どう考えてもAクラスを走る実力がある人というのもあるわけなので。そこは幹事長の裁量に任せる部分もある。
松浦	150%という数値は明確でよいが、例えばこの学連では半分程度Bクラスに移るが、他の学連では10数名しかBクラスに移らないといったことがあり得る。学連ごとにBクラスに移る割合が異なってしまうのはどうかと思う。
五味	とりあえず現段階ガイドラインに書いてあるのは、前回の幹事会で決定した内容である。今言った割合等の内容を記載すべきと幹事が考えるならば書き加えることができる。ただ、地区学連によってその割合の意味する所が同じになるとは限らない。例えば、関東の7割と北東の7割は同じであるかといった具合に。
小泉	ガイドラインの基準をベースに地区学連で調節するしかないと思うが。
五味	前回幹事会の続きになるが、150%以内という基準以外に何か良い案はあるか。
新粥	とりあえず運用してみないと分からない面もあると思う。
五味	ガイドラインとして不適切な内容は書きかえていけば良いので、ガイドラインは目安であるという趣旨の注意書きを加えた文章もう一度幹事メーリスに流し、それで特に意見が無ければ総会までに渉外に周知して、今年度インカレミドルから運用という形にしたいと思う。
松浦	このガイドラインは加盟員向けなのか、それも申し込みを担当する渉外向けなのか。
五味	加盟員全体向けにガイドラインを提示し、渉外は全員がガイドラインの内容について知るように努力する必要があるということ。何も無ければ次に移りたい。

6. 目安箱について	
—背景— 幹事会で取り上げることが難しい加盟員の直接の意見を集めるため、目安箱の設置が2014年度第3回幹事会で決定された。	
—議論の概要— 今年度インカレスプリント・ロングに目安箱を設置することを報告した。また、後援大会における目安箱の設置に関して議論を行った。	
—発言内容—（敬称略）	
五味	インカレロングなどで目安箱を設置しようという話で、前回幹事会では後援大会に設置するということを決めたが準備が遅れている。今回のインカレスプリント・ロングで設置するのだが、目安箱を置ける場所はあるだろうか。
齋藤	スペースはあるので、予め言ってもらって箱を持ってきてもらえば良い。
五味	目安箱はそもそも今実物がある状態なのだろうか。
村瀬	（昨年度副幹事長）佐藤氏からすごく作りが雑だということを聞いている。
齋藤	当日もし宣伝等をするならばマイクは渡せるとは思う。スプリント競技が終わった後等、うまい具合にやってほしい。
五味	出来れば、目安箱にこんなことを書いても良いというようなことや、最近の幹事会の議題なども書いてあれば良いと思う。では、目安箱を作って置くという報告とさせてもらいたい。
田中(悠)	それは学連ホームページや学連 Twitter 等でも流した方が良いか。
五味	事前に流してもらえると良い。
新粥	それなら今後は目安箱設置については、後援大会の要項やプログラムに載せるようにお願いした方が良いと思う。
五味	後援大会の場合に目安箱を持っていくということになった時、目安箱を持っていく人と回収する人は誰になるのだろうか。
新粥	後援するので目安箱設置をお願いしますといった具合に、運営側に任せれば良いと思う。箱は別に同じ1つの物を使う必要は無いし、目安箱コーナーにみたいなものを作ってもらえば良いと思う。
五味	では、大会運営と関係のある幹事は少なからずいると思うので、設置の依頼などその人をお願いするということにしたい。他に無ければ次に移りたい。

7. インカレロング女子選手権競技者数について	
－背景－ 現在、女子ロング選手権の競技者数を40人から30人に削減する幹事会案が出されている。	
－議論の概要－ 女子選手権の競技者数を40人から30人に削減する幹事会案に関して、予想される反対意見に対する幹事会の意見を議論した。	
－結論－ 女子選手権の競技者数を40人から30人に削減する幹事会案について総会で決を取りたいということ、予想される反対意見に対する幹事会の意見を記載して、10/3(土)の総会までに各加盟校渉外宛にアンケートを流す。総会で各加盟校の意見を聞き、特に反対が無いようであれば決を取る方針とする。	
－発言内容－（敬称略）	
五味	インカレロング女子選手権競技者数を40人から30人に削減するという幹事会案について、10/3の総会までにメーリスで幹事会案を流して、もし何も意見が無ければその総会の場で決を取る予定である。今流して決めるのはどうかということもあるが、意見が無ければ総会で決定としたい。
小泉	削減は意見が出るとは思う。
五味	反対意見があった場合の対応をどうするか。
小泉	今年度春インカレの総会で規約の承認を取るならば、ひとまず臨時総会を挟むことにはなと思う。
五味	次回総会の時点で決まらなかった場合に臨時総会をいつにするかも決めなければならないので、臨時総会をいつやるかを決めた方が良いのだろうか。KOLC大会の時期迎りになるとは思いますが。
新粥	決を取りたいのだったら、1週間という期間は厳しいと思うが、どのような反対意見が出るかを考えて、それに対する幹事会の意見を出しておいた方が良いと思う。例えば、ロング女子選手権の人数を40人から30人に減らすと、エリートに出てこれからの成長が期待できる選手のチャンスを損なうなどといった反論が来る可能性があるから、それに対して幹事会の考えを決めておく。
五味	今回10/3の総会までに流す渉外へのメーリスには、削減についてどう考えるか、特に意見が無ければ総会で決を取りたい、といった内容の他に幹事会としての詳細な意見を記載するということが良いか。
新粥	そうでないと決は取れない。
五味	できるだけ決を取るために、女子選手権の人数を40人から30人に削減することに対して反対意見が出た場合に、幹事会がどう答えるか意見をまとめたい。以前の議論を振り返ると、ロング女子選手権の人数を削減するというのは、ミドル女子選手権の人数が30人に決定され、スプリント女子選手権の人数も30人であるから、ロングのみ40人というのは道理が通っていないという理由だった。そして、そもそもなぜミドル

	女子選手権の人数が30人に決定されたかという、ミドル男子選手権の60人という数字を考えたときに競技者数の男女比2:1を考慮すると、女子は40人とするより30人とした方が望ましいからであった。そしてそれは同時にロング女子選手権が40人であることを否定的に見るといことなので、今回の幹事会案が出てきた。これに対して反対意見が何か考えられれば挙げてほしい。
新粥	運営負担が無いなら、男子80人、女子40人にすれば良いという案は出ると思う。女子40人を基準にして、スプリント・ミドルも40人にして、ただ単に増やせば良いという意見があるかもしれない。
五味	では男子選手権の人数が80人でない理由はあるだろうか。運営負担と競技者への負担が大きいという点だろうか。
村瀬	その辺りの理由と競技性を兼ね合わせてだろうとは思いますが。
五味	ロング男子選手権の人数が60人である理由について齋藤氏はどう考えるか。
齋藤	正確には分からない。昔からというのもある。ただ、ロングは2分間隔なので20人増えるだけで40分も増えることになるので、そうなると併設クラスがさらにながしるにされる可能性がある。さらに、今回ロングでもバス輸送が厳しく後ろが詰まっています。スタート時刻を前に詰めなければならない。これからスプリントが続くとすれば朝早くすることはあまり問題ではないと思うが、後ろが厳しくなるのでそれこそ表彰式の時間が短くなる。併設クラスに影響を出さないとロング選手権の競技性を保証できない等という自体にもなりかねないと思う。今回のロングでさえ厳しいので。
五味	ロング男子選手権が80人になれば、競技者の負担も増えるということで良いか。
齋藤	スケジュールの負担はかなりある。スタート1分間隔にしてもいいなら無くはないが。学生としてロングは1分間隔にしたいと思うだろう。
五味	確かに1分間隔は競技性が保てないだろう。男子を80人に増やせばよいのではないかという意見には、スケジュール的な問題とラストスタートの選手は160分以上待ち続けるというのが負担である等といった選手の負担で良いだろうか。
齋藤	隔離する時間が長くなるというのも問題である。
五味	では負担が大きいということでまとめたいと思う。他に反対意見はあるか。
松浦	エリートが減ることで、自分の大学からエリートを出せなくなってインカレに対する思い入れが薄くなるということがあるのではないかと思う。応援することができなくなる大学が増えるということは挙げられると思う。
五味	では、エリートが減って、自身の大学からエリートが出なくなる可能性があり、インカレの意味合いが薄まるということについてはどう答えるか。
田中(基)	そもそもインカレという決勝戦に全員が参加しているオリエンテーリング界が異常なだけであって、エリートのいない大学があるというのはむしろ普通なのではないか。
村瀬	例えば、昨年女子ロングだと競技時間の2時間半以内に帰ってきている人は35人。
小泉	そもそも、エリートが減ってインカレへの思い入れが減るといった反対意見は、ロン

	グの競技者数がスプリント、ミドルの競技者数と異なった人数であるべき理由にはならないと思う。
五味	確かに、エリート数が減ると自身の大学からエリートが出ないという意見は、ロングの競技者数がスプリント・ミドルと異なる理由にはならない。
小泉	むしろミドルの方で人が増える方が自然であると思う。ロングが増えるのは逆だと思う。
五味	後は、以前の話し合いにもあったが、選手権者を決めるための大会なのだから各大学のインカレに対するモチベーションによって下位層を増やすのは違うのではないか。
新粥	幹事会としては推奨できないということになる。
齋藤	ミドルとロングで女子競技者数が違ったのは、そもそも競技形式が違うからであった。もとはといえばミドルは予選決勝方式で、予選は男子 160 人・女子 100 人で決勝は男子 40 人・女子 20 人であった。それを予選決勝方式でなくしたときに男子 50 人・女子 20 人にしたと思うが、その時の競技者の割合などで、男子だけ 10 人増やして男子 50 人・女子 20 人になった。ロングが変わっていないのに対し、ミドルがその時の事情で変遷してきた。だから、今までロングの競技者数は比較対象にもなっていないので、変えたとすれば今かなというのはある。
五味	あと他に反対意見は挙がるだろうか。反対意見が思い当たらないのであれば、幹事会案を後押しする理由でも良い。現実女子選手権が 40 人だと下位層は結構厳しいのではないかというのは個人的な意見としてあるが。女子選手権で 30 位以下になっている人は自分に見合っていないコースを走っている状況になるといったようなことは、幹事会の意見として出しても良いと思うか。良いと思う方は挙手を願いたい。(→半数以下) 理由に入れるほどのことでもないということが良いか。
小泉	他に理由があるなら、その意見は強調しなくて良いかと思う。
五味	では、エリート数が減って自身の大学からエリートが出にくくなり、インカレへのモチベーションが下がるという反対意見に対しては、ロングの競技者数がミドル・スプリントの競技者数が違った方が良いという主張にはならないということと、競技者数の男女比が 2:1 であることから男子・女子選手権の人数比は 2:1 であることが理想的である、という 2 点だけを理由として良いか。
小泉	それだけで十分だと思う。どうしてもという加盟校には、先程の、自分に見合っていないコースを走っている状況になるという意見を口頭で良いので提示すればよいと思う。
五味	渉外宛に流すメールに、女子選手権の競技者数を 40 人から 30 人に削減する幹事会案について総会で決を取りたいということと、先程の 2 つの反対意見に対する幹事会の意見を記載して、加盟校にアンケートを取ることにする。何も無ければ次に移りたい。

8. インカレ選手権枠の配分方法について	
<p>－背景－</p> <p>インカレ選手権の部の地区学連枠を配分する際、30位以内に入った人数が同じ地区学連があった場合の配分方法が規約に記載されていない。</p>	
<p>－議論の概要－</p> <p>①30位以内に入った人数が同じ地区学連に対し、両方の地区学連に枠を与えるか、もしくはどちらかの地区学連のみに枠を与えるかを議論した。</p> <p>②地区学連枠の再配分の際、走れる人がいない地区学連に枠の返還を義務付けるかどうかを議論した。</p>	
<p>－結論－</p> <p>①, ②に関して幹事会としての意見は以下のようになった。</p> <p>①両方の地区学連に1枠ずつ配分する。</p> <p>②枠の返還は不要で・義務ではない。</p> <p>但し、以上は技術委員会への参考意見として取り上げられ、決定事項ではない。</p>	
<p>－発言内容－（敬称略）</p>	
五味	<p>(2014年度インカレロング実行委員長)山上氏から挙げられた議題である、選手権枠再配分と返還について話したい。山上氏に挙げたもらった資料の議題1、前年度実績枠の優先順位が同じ学連が生じた際の扱いについて話したい。例えばインカレロング男子選手権の部の地区学連ごとの配分は、①地区学連に2名ずつ配分し、②残り48名は前年度ロング選手権で30位以内に入った割合に応じて地区学連に配分、③そして配分された枠の数より競技者が少ない地区学連はその分を返上し別の地区学連に再配分するという形になっているが、②における30位以内の人数が同じ場合の規定は無い。例えば北東学連と関東学連で30位以内に入った人数が同じで、再配分が1名であった場合、枠は北東学連と関東学連のどちらに与えられるのか、それとも両方に与えられるのかという問題である。どちらにも与えるものがA案、どちらかに与えるものがB案として挙げられていて、北東学連と関東学連のどちらかに与えるB案とした際は何かの形で順位づけが必要で、山上氏の提示した案では、31位以降の順位で決めるもしくは30位以内の順位で決める、また地区学連の加盟数など順位以外の要素で決める3通りがある。トップ層の順位で決めるのか、それとも下位の層の順位で決めるのか、またはその他かということだと思う。これは実際にあった話で、昨年度ロング女子選手権で30位以内の数が同じだったようなのだが、(技術委員長)大西氏が自然と両方に枠を配分していたという話であり、それを発見したOBの方がいたということで話が挙がった。北東学連と東海学連に2枠配分されていて枠が1つ増えたような状態になっている。この話は、単純に幹事会がどの案が一番良いと思うかに委ねられると思う。両方に配分するというA案のメリットは平等であるということ。単純に、今決まっている規約の中で平等さを求めたとするとこの案が正統かなと思うが、もしデメリット</p>

松浦	を挙げるとすれば、選手権者の人数が増えるということはある。
五味	この話は再配分に限った話のようだが、例えば学連枠以外の男子選手権の 48 枠を配分
松浦	する普通の「配分」の際には、このような事態は起こらないのだろうか。
大久保	配分計算の小数点の数字が全く一緒になることはないのかということか。
新粥	そういうことである。
五味	枠の配分はすごく複雑な計算式であって、単純ではないと把握している。だから小数
新粥	点以下が長く続き同じにはならないのではないか。
五味	そもそもこの話は「配分」の話ではないか。
新粥	確かに、山上氏は②の「配分」に関して、30 位以内が同数の場合の規定が無いと指摘
五味	している。
新粥	議題は「配分」に関するものである。
大久保	では、関東学連と北東学連の 30 位以内の人数が同じ場合は、完全に配分式の数字が同
新粥	じになるからどうするかという話であろうか。
大久保	その数字は本当に同じになるのだろうか。
五味	実際に計算式※を見てみると先ほどの場合で関東学連と北東学連の小数点以下の数字
田中(悠)	が異なることはあり得ない。例えば 30 位以下が両方 8 人だとしたら、8 人を 30 位以
五味	内の総人数である 30 人で割って 48 をかけるので両方全く同じ数字になる。
橋場	ひとまずは、山上氏の挙げた A 案と B 案のどちらが良いかを定めるべき。単純に A 案
五味	と B 案のどちらが良いか聞いてみて、もし結果が伯仲したらお互い意見を言って議論
橋場	を深めようと思う。A 案の 2 つの地区学連に平等に 1 枠ずつ配分する案が良いと思う
五味	方は挙手を願いたい。(→1 人以外挙手) B 案の優先順位を判断して、優先度合いが高
橋場	かった方に配分する案が良いと思う方は挙手を願いたい。(→1 人のみ) では、なぜそ
五味	う思うか。
橋場	枠の配分は学連の力が反映されるべきで、そうすると北東学連と関東学連が 8 人ずつ
五味	だからといって、完全に平等な力というわけではないと思う。例えば、もし関東学連
橋場	が 30 位の中でも上位の方にいて、北東学連はそれほど上位にいないということとかで
五味	あれば、学連の力を反映するということを考えると今の例では関東に 1 枠与えたらいい
橋場	のかなと思う。
五味	今の意見に対してどうでしょうか。
橋場	個人的には枠を取るのは個人の結果だから、その枠の配分の時に、学連の力がどうだ
五味	からといって枠がもらえないとなると、選手の感情としてはどうだろうか。同率にな
橋場	るということも珍しいので、そこは柔軟に両方に 1 枠与えてあげてもいいのではない
五味	かと思う。学連の力というよりは、同率で次点になる人には個人として走らせてあげ
橋場	たいという気持ちがある。
五味	もし関東学連と北東学連が 8 人ずつだとしたら、30 位の中に関東学連 8 人、北東学連
橋場	8 人という時点で学連の力としては同一なものと考えて良いのではと思う。関東学連

	<p>が上位 10 人の内に 8 人を入れていて、北東学連が 20 位付近に 8 人を固めていたとしても、それは 30 位の中に 8 人を入れる実力という意味でどちらの学連も同一の力を持っていると考えられる。</p>
小泉	<p>そこの 1 枠を気にしてもしょうがないというのが大多数の意見だとは思う。</p>
新粥	<p>大西氏が、自然に両方に枠を割り振ったというのも、今までもそうだったということだと思うので。</p>
五味	<p>では、配分の際に同率になった場合は、ロング選手権競技者が増えたとしても両方の学連に 1 枠ずつ配分するという A 案で良いか。反対意見はあるか。</p>
田中(悠)	<p>大丈夫である。</p>
五味	<p>それでは賛成多数ということで A 案としたい。</p> <p>次の再配分の話に関しては、加盟員数的には人数はいるけれどロングを走り切れる実力が無く、8 枠あるが 7 人しか出走しないといった時、残り 1 枠をどうするかという話である。それを返上する義務があるのかどうかという話だと思う。これについて意見はあるか。</p>
田中(求)	<p>これは北信越学連の女子選手権で実際にあった話だが、北信越の対応としては枠を返還するというところを行ったが、北信越学連の話し合いでは希望者がいれば走ってもらい、北信越学連には不利にならないようにしたいという考えだった。枠の返還が不要という選択肢があるなら、そのような選択をしても良いと思う。</p>
新粥	<p>中四国九州学連は枠の返還はどのようにしたのか。</p>
下江	<p>中四国九州学連は、女子は 1 年生の 1 人しかいない状況であり、それは初めから返還するということを決めていたが、男子に関しては、申し込みの直前にやっぱりエリートを走る実力は無いと言って辞退した人がいたので、その分の枠については返還できなかった。</p>
五味	<p>返還も出走もなしという選択肢は現時点ではありなのか。女子選手権については、大西氏が、返還する大学は早く返還してほしいとのことだったので、北信越としては返還しなければならぬと思いついて返還した。きっと当事者の地区学連の意見としては、来年度はもっと走れる可能性があるかもしれないのに、わざわざ他の地区学連に枠を与えて次年度の他の学連の枠を増やす可能性を作るよりは、誰にも走らせなければ次年度の自分の学連のためになるということはあると思う。ただ、インカレのことを考えたら枠の分はしっかり人数通り走れた方が良いというものもある。</p>
小泉	<p>対象者はどうなるのか。中四国九州学連のように、その返還の対象の人はどうしたいのかは大事ではないか。</p>
下江	<p>とにかく自分は走れるレベルではないから走りたくないということだった。</p>
小泉	<p>その人が走りたくないということだけではなく、他の人に走ってもらいたいという気持ちがあるならば返還するというのもありだと思う。対象となる人がどう判断するかは任せるということで良いのではないか。他の地区学連の人に走ってもらい</p>

	たいという気持ちがあるならば、そのようにすれば良いし、逆に自分の学連の次年度のためにも枠は自分たちものとして自分は出走しないという気持ちがあるならば、返還しなければ良い。
五味	皆さんに意見を聞きたいが、山上氏の挙げてくれたC案、枠の返還を義務付ける、D案、枠の返還を不要とするという2案について、先程の本人の意見を聞くというのは、D案になると思うが、C案の枠の返還を義務とするという案が良いと思う方は挙手を願いたい。(→少数) C案の枠の返還を義務付けるという案を選ぶのはなぜか。
藤田	走れる人がせっかくいて、次に枠を取るチャンスが与えられているのにチャレンジしないということはどうなのか、次の年に他の地区学連に枠を取られる可能性が出てくるからチャンスを生かさなくて取っておくというのは違うと思う。ちゃんと返還して走る気がある人に走ってもらうのが良いと思う。
橋場	枠を取っておいて次の年に自分たちに有利にするというのは、インカレというイベントを考えると違うと思う。翌年のことを考えるよりはその年のインカレをもっと面白いものにすべきだと思う。年を越えて自分の学連のことを考えるよりは、その年のベストな選手がインカレに出られた方がインカレとして良いのではないか。
五味	今の意見を聞いて、D案、枠の返還は不要である、義務ではないという意見の方は何かあるか。
小泉	そもそも、関東学連は辞退する人が出た場合に次点の人が入るという欠員補充という制度があるのだが、それは他の地区学連はやっているのか。
五味	北信越の女子選手権はそれ以前に、インカレロングに出走する人で1年生以上の全員を出したとしても7人しかなくて、それなのに8枠あるという状況。他に意見がある人はいるか。無ければもう一度多数決を取って、D案、枠の返還を義務としないという意見が多いならばその案で決定する。
村瀬	できることなら枠は返還した方が望ましいだろうと思うが、例えば何かしらの理由でエントリー締切り直前に返還しなければならなくなった場合、返還が義務だけど間に合わないといった事態が発生したらどうするのかと思ったから、C案の枠の返還は義務であるという案に賛同できなかった。
小泉	同意見である。
新粥	手続き的に無理があるとは言える。
小泉	仮にエントリー直前に選手がけがをして枠を返還しなければならなくなった場合等、返還が義務となると運営側も困るし地区学連側も困る。それならば、枠の返還は任意とした方が良いのではないかと思う。
新粥	それはまだ欠場という選択肢があるからまだ良いとは思うのだが、先程の中四国九州学連の話聞いて思ったのが、10月のインカレの枠の配分は6月に行われ、3カ月間で実力をつけてエリートを走れるだろうと考えて地区学連として枠を取っておきEクラスでエントリーするのは普通の考えであるが、9月に入って結局そこまでのレベル

	<p>には達しなくてエリートを走らないようにしたいとしても、その人はEクラスで登録しているのでAクラスに参加することができないという問題が生じる可能性がある。確かに枠を返還することが望ましいのだが、返還を義務づけるというのは別に色々難しい問題が出てくるかと思う。</p>
五味	<p>他に意見が無ければ、再度多数決を取って、その結果を幹事会の意見としたい。枠の返還を義務付ける方が良いと思う方は挙手を願いたい。(→少数) 枠の返還は不要であるという意見の方は挙手を願いたい。(→多数) 枠の返還を義務付けるという意見が少し増えたが、どのように思うのか一応聞きたい。</p>
細	<p>出来ればそもそも辞退してほしい。けがはしょうがないとしても、走れる気がしないというような理由でエリートを辞退してほしい。それを見ている側からすればそう思う。</p>
五味	<p>多数決ではD案、枠の返還は不要となったので、幹事会の意見としては枠の返還は不要としたい。これは規約を改正するものなので、総会で承認という形で良いのだろうか。</p>
新粥	<p>山上氏の文面を見る限り幹事会での意見を聞いて、技術委員会で検討したいといった程度ではないかと思う。</p>
大久保	<p>手順はどうあれ、総会の決が必要であることは間違いない。</p>
新粥	<p>次の総会の話に盛り込むということではないと思う。</p>
五味	<p>では、幹事会としては枠の返還が望ましいとは思っているが、枠の返還は不要・義務ではないということとしたい。</p> <p>次に枠の配分方法に関して、ある人から言われた意見で、例えば現在男子選手権では30位以内に入ると1.6枠分自分の学連に持って帰ることになるのだが、これが特に卒業生だったり実績枠だったりすると、1人が持って帰る枠が多すぎるのではないかという意見があった。これを幹事会の人はどう考えるのかと思い議題として挙げた。各地区学連のセレクションで、言い方は悪いが今年のこの地区学連のセレクションは緩いというような学連があると思うのだが、これは前の4年生が早くて枠を沢山持って帰ってきたけどそれ以下の学年ではその枠を走り切れる実力の人が少ないため他の地区学連と比べてそれほど実力が無い人もセレクションに通るということだと考えている。また、今年の北信越の女子ロングで顕著だが、4年生が多く枠を取ったり、実績枠を取ったりして今年の北信越の枠が多くなったが、4年生は今年その枠を使わない人だから実力のあまりない人にも枠が与えられる状態となっている。それならば、現在男子では48枠を30人で割って枠を計算するが、この48枠という数字をもっと減らしても良いのではないかと思う。簡単に言うと、現在男子の学連枠は2枠配分されていると思うが、その数を増やす等をしてはどうか。単純に各地区学連に同じ数枠を増やすのだと加盟員の少ない地区学連に有利になってしまうので、加盟員の人数比を考慮して配分する等はした方が良いが。つまり、去年30位以内に入ったかは関係なしに今より多い人数を学連枠として配分すれば、前年度に30位以内にどれだけ入ったかということが次の年度に及ぼす影響が現在よりは小さくなるのでは、という意</p>

	見があって、それについてどう思うかを聞きたい。もし、この意見に対して肯定的な意見ならばもう少し文章をまとめて提示しても良いかと思う。
村瀬	ちなみに、現段階の案はどのようなものか。
五味	現在、男子選手権は12枠が学連枠で48枠を配分するが、配分する枠を36枠程度にするといった感じである。そして、24枠を加盟員の人数比などで配分するというもの。そうすれば、前年の4年生が強かったから、今回のセレクションは緩いといったことはなくなると思うので。
小泉	とても個人的な意見だが、自分が昨年のロングで0Bの方に言われたことで心に残っているのは、2年生はチャレンジャーだから枠を取っても取れなくても良い、3年生は来年の自分の枠を取ってこい、4年生は学連の来年の後輩のために取ってこいということ。そのように考えると、来年の後輩のために頑張る枠を取ってくるというモチベーションで走る4年生がいるとしたら、加盟員の人数比等で配分される枠が多いよりは、純粋に自分が頑張った分がそのまま後輩に返上されるといった方が良いのではないかと思う。
新粥	実際問題として、4年生はそれをモチベーションにする人は大半だと思う。
五味	4年生が枠を取ってくるということが変だと言っているのではないが。
松浦	確かに1人が30位以内に入ったら1.6枠持って帰るのは多いとは思う。1人入ったら1枠で良いかとは思う。
新粥	確かに多すぎるということはある。
五味	実績枠に入ると、2.6枠分持って帰ることになってしまうから、それが多いという感じである。10位等に入って1.6人枠持ち帰ることなどは顕著ではないとは思うが。
橋場	自分の認識では、配分枠というのはその時の地区学連の勢いを反映して、次に生かしていくものという認識である。その年強かったら、もしかしたら次の年も強いかもしれないと考えれば、走った人が1.6枠分持って帰って枠が増えるのはその趣旨に合っていると思う。また、今年セレクションが緩かったということは、期待されたほどその地区学連が強くなっていなかったという結果であるし、セレクションが緩くて沢山エリートが出たとしてもインカレで枠が取れなければ人数は減る。セレクションが緩い年があって、変動するのが当たり前かとは思う。個人的には問題ないと考えている。
小泉	それこそ、セレクションが緩くなって選手権を走れる人が出ればモチベーションに繋がるし、逆にセレクションが厳しくて例年なら選手権を走れたはずなのに走れなかった、ということもモチベーションに繋がってくる。両方ともプラスな面はあると思うので、このままの配分で良いとは思う。
石山	東海学連に関してはもう少し学連枠を増やしても良いとは思う。上の学年が強すぎて枠を沢山もらったが、ほとんど落としてしまったことがあった。配分の枠を48枠から少し減らしても良いとは思う。1.6枠持ち帰るとするのは東海学連にとっては大きすぎた面がある。42枠等、軽く減らす程度ならば良いと思う。
五味	では、今の感じでは、あまり数値はいじる必要はないというのが大半の意見ということで、次に移る。

※配分計算式

日本学生オリエンテーリング選手権ロング・ディスタンス競技 競技者数及びその配分に関する規則

第3条 競技者数配分方法(男子)より

3.2 前年度実績枠48名を前年度男子ロングの実績を基に、以下の式により各地区学連に配分する。

地区学連の前年度実績枠の人数＝

$(\text{当該地区学連前年度 30 位以内の人数}) / (\text{前年度 30 位以内の総人数}) \times 48$

但し、小数点以下は原則として切り捨て、48名に欠ける人数分については、小数点以下の数値の大きい地区学連から順に配分する。

9. 理事会報告	
<p>－背景－</p> <p>前回幹事会では、4年間で関東→関西→関東→その他の地域というサイクルでテレインを回すというインカレミドルの開催方針が提示された。来年度の関西インカレミドルに関しては、新規テレインの掘り起こしを考えている。</p>	
<p>－活動報告－</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年度インカレ競技規則不適用事項の承認 ・2015年度インカレプリント・ロング シード選手選考 	
<p>－議論の概要－</p> <p>来年度インカレミドルに関して、NishiPRO にテレイン選定等を委託する関係上、理事会から50万円の幹事会決済の依頼があり、それに対する認否を審議した。また、今回のインカレロングのモデルイベントテレインで発生した渉外問題に関して報告があった。</p>	
<p>－結論－</p> <p>2017年3月開催の再来年度インカレミドルに関して、50万円の幹事会決済を承認した。</p>	
<p>－発言内容－（敬称略）</p>	
海老	<p>前回幹事会でこれからのインカレミドルのテレインについて意見を提示させてもらい、その後理事会で話を進めている。3月のインカレミドルのテレインの選定については基本的にはその前の年の4月以降に行われ、実行委員会が立ち上がるが、様々な問題があるのが実情。1年間で準備することが大変だという問題や、昔は色々な場所でインカレが行われたが、特に最近はインカレを開催する場所が限られて選択肢が狭まっているという問題がある。できれば色々なテレインでインカレを開催した方がいいのではないかと考えていて、それを実現したいと思っている。具体的には前回幹事会で案を示したように、関東→関西→関東→その他というように4年間でテレインを回すことを考えていて、今年は矢板でインカレミドルを開催するので来年は関西で、その次が関東、そしてその次のインカレミドルを愛知やその他手が挙げた所で行う予定である。なぜ4回で1サイクルにしているかというと、学連1年目の時から数えてインカレミドルは4回行われるからである。今日は急で申し訳ないがインカレミドルに関する決済をお願いしたく議題として取り上げていただいた。2015年度ミドルは実行委員会が立ち上がって準備が進んでいるが、来年関西についてはここ数年インカレをやっていないことと、新しいテレインを掘り起こしてその地区学連として使えるテレインをインカレとして準備したいと考えている。新しいテレインの掘り起こしも含めて地図業者に申し合わせしたい。具体的にはNishiPRO にお願しようと考えている。今までのインカレの地図の作製学連の方からお金を預けてもらって、その中でやりくりして学連に返すという流れであるが、来年度関西ミドルについては、実行委員会はまだ立ち上がっていないので、このテレインがいいというような調査費や渉外費はNishiPRO にお願するにも財源が無い状態。幹事会の方で50万円の貸付けの決済</p>

	<p>をお願いしたい。今までの地図の作成費用に+50万円というわけではなく、50万円は先出しをしているだけという認識でお願いしたい。トータルでは毎年と変わらないくらいに収まる費用にしたい。インカレの地図製作費がどの程度かという、2014年で292万円、2013年で320万円、2011年で390万円、2010年で290万が予算となっている。</p>
齋藤	その金額は、調査業者の宿泊代なども込みにしたものか。
海老	トータルで業者から請求が来た額である。
齋藤	別で経費を負担という話は無いということで良いか。
海老	<p>予算が先ほど申した金額で、実績の金額もほぼ同じであった。2011年は倍程度かかっているが、それ以外は予算の9割5分くらいで収まっている。実際に50万円で業者に、テレインの選定と下渉外、著作権管理と調整を依頼する。基本的には関東以外のところでインカレをやる時は地区学連の著作権の管理などの調整を含めて、すべてそこで下準備を行ってもら。基本的には学連で著作権を持って自由に使えるように調整するようお願いしているが、それに行きつかなそうな場合は理事会か海老の方で対応する予定。</p>
山川	<p>具体的な話をすると、今までこのような企画立案の部分は業者であり学連副会長である山川が自分の思い入れもあって行っていた部分があったが、将来のことも考えてNishiPROに企画立案の依頼をすることを考えた時、そのための期間とお金が必要であることを海老理事に発議してもらった。</p>
海老	<p>質問や意見があればお願いしたい。特に何も無ければ、今回は50万円の決済でNishiPROに下準備を依頼したいと思っている。もう一つお願いしたいのは、関東→関西→関東→その他のサイクルで、3年後に行うその他の地域が未定なので、どこでやりたい等の意見があればお願いしたい。</p>
五味	“その他”の時になった場合は、NishiPROやYMOEやそれに代わる業者などはあるのか。
海老	<p>NishiPROとYMOEのどちらかに依頼しようと考えている。マンパワーがあって実行委員会の方で2年かけてやるというのであればやってもらえば良いと思うので、それは全く否定しない。ただ、関西で2年間かけて準備しようと思ったらマンパワーと時間が必要なので、その部分を業者に依頼した方が良いと考えた。</p>
田中(基)	ちなみに、ロングのテレインの選定はどのように行っているか。完全にミドルと独立して行っているのか。
海老	<p>ロングの担当理事は木村氏で、今はスプリントと一緒にしているが、1日間のロング単体で人を集めるためにどこかの大会と一緒に開催するのが通例となっている。どちらかといえばミドルは単体のイベントとして成り立つので、場所は問わず比較的自由に決めることができる。本来は、ロングとミドルのテレインは調整しあって、色々な場所で開催出来たりするべきだとは思う。</p>
山川	スプリントが入ったので、ますます熟慮して決めていかないといけない。
海老	今回は、ミドル・リレーの方針は先に提示しているので、(テレイン等は)ロングの方

	に調整してもらいたいという気持ちはある。他に何かあるか。
松浦	富士は関東に含まれるのか。
海老	関東というのは基本的に日光・矢板を考えている。静岡は合宿や練習で良く入る場所であるからインカレを行うのは難しいと考えている。また、折角関東以外でやるのならば、新しいトレインを開拓して使えるトレインを増やすことの方が意義を感じる。
橋場	日光・矢板でミドルを行う時は、調査費用が事前にかかるということは無いか。
海老	基本的には無い。
山川	YMOE の場合は(調査費用は後出しでも)構わないということ。
橋場	2年に1回関西の時は一部調査費の先出しが必要ということで良いか。
海老	その認識でお願いしたい。
山川	NishiPRO が調査をする時は調査費の先出しが必要。
橋場	そうすると-50万円したものがインカレ実行委員の会計になるのか。
海老	今回50万円を先出したとすると、来年度のインカレ実行委員会の地図作成費から50万円引かれる形となる。
小泉	ちなみに調査費の先出しは今回限りか、それとも今後行うのか。
海老	今回は急な依頼となってしまったが、この件については今回限りにしたい。ただし(関西ミドル実施の際の)枠組みができていないので、今後検討していかなければならない。
五味	他に質問が無ければ決済に移りたい。2017年3月開催のインカレミドルに関する50万円の幹事会決済を承認する方は挙手を願いたい。→(承認多数) では、50万円の幹事会決済は承認とする。
齋藤	ここでインカレ関係の話の一つだけさせてほしい。メインの話は次期幹事会で行ってほしい。最終的に大きな問題には発展しなかったが、今回のインカレスプリント・ロングのトレインで所謂渉外問題が発生した。具体的にどのようなことが発生したかについては、大会が終わった後にしっかり提示し、それを基に学生に考えてほしい。モデルイベントトレインを使う際に使用可能な駐車場を大会HP上に掲載していたが、注意書きをきちんと読まずに、ある団体が別の場所に駐車をしていたことが発覚した。指定された駐車場以外に車を止めたこと自体問題だが、さらに問題なのは明らかにペションの私的空間に車を止めていたこと。またそれだけに留まらず、そのペションに話を聞いてみると、どうやらこれが初めてではなく、常習的かは分からないが過去にも同じようなことがあったようだ。我々オリエンティアとしては、他の場所でもそのようなことが起こっていないかということが心配である。報告書にあげる渉外問題の詳細を受け、それを基にガイドラインを出すか等といったことは幹事会に任せるとして、加盟員全体にどうやって(土地使用の意識等を)浸透させるのかということを考えてほしい。これについては次期幹事会で話してほしい。
五味	渉外について気になっていることがあるので、少し話しをさせてほしい。各大学合宿をするときは、自分の所属地区学連とトレインがある地区学連に申請書を提出すると

	<p>思うが、その書類はどれほどきちんと提出されているものなのだろうか。北信越では、現幹事長ではないが前幹事長に聞いた時、ほとんど来ていないとのことだった。富士・山梨でやる場合は、北信越にも提出が必要なので、北信越学連にも申請書が来ているはずであるが。</p>
新粥	<p>申請書類は各地区学連が日本学連事務局に送ることになっている。今のところ自分が担当している2年間では、恐らく全部来ているのは北東学連のみ。2か月前くらいから関東学連からも来始めた。</p>
五味	<p>申請書類に駐車場の位置を書く欄もあるので、申請書の提出率がどれほどなのか気になっていた。</p>
新粥	<p>関東学連の話聞く限りだと、各地区学連事務局の所で書類が止まっている可能性が高い。</p>
小泉	<p>関東学連としては申請書類がしっかり来ていることを確認している。ただ、他の学連にもしっかり書類を出しているかは確認することはできない。</p>
新粥	<p>あとは、事務局のアドレスは加盟登録以外ではほぼ使用しないので、ちゃんと機能しているかの確認も必要かもしれない。</p>
五味	<p>申請書類がきちんと来ているか確認することで、渉外に対する意識が向上すると思う。一作業が入ることで各渉外が責任者であるという自覚を持てると思うので。各地区学連幹事長は、各事務局長に日本学連事務局に申請書を提出するように言ってほしい。そうすれば、日本学連として、各大学がきちんと理解し手続き行っているかどうかを把握できると思う。</p>
田中(基)	<p>申請書類の漏れの原因は、テレインによって申請方法がまちまちであることも挙げられると思う。理想論ではあるが、日本でオリエンテーリングをしようと思ったら、どれとどの書類を出せば良いなどと統一する方向に持っていきたいと思う。</p>
五味	<p>学連に対する申請書類はどの地で開催しても同じ規格の書類で、その提出に関してなら普通渉外だったらわかると思うが。</p>
新粥	<p>その書類は同じだが、県協会等の関係がややこしい。</p>
五味	<p>県協会関係は確かにその通り。ひとまず、各地区学連幹事長は申請書を日本学連事務局に提出するように伝えてほしい。</p>
齋藤	<p>最後に、理事会の活動としては、今回のインカレスプリント・ロングのシード選手の決定、スプリントにおける競技規則不適用事項の承認である。競技規則不適用事項に関して、詳しくはプログラムを参照してほしい。</p>

10. 各部局活動報告	
・ 会計	
－ 発言内容－（敬称略）	
大久保	活動報告としては、まずはインカレミドルの貸付金の返金を行った。黒字分の返金は後日される予定で、まだ黒字分の返金はされていないが確か120万円くらい黒字が出たそうだ。実行委員会に一任するとした去年のロングの黒字分が、今年の6月に振り込まれていて、昨年のロングに関する会計はすべて完了した。加盟費を各地区学連に請求することとなるので、地区学連幹事長の人は地区学連会計に学連から加盟費の請求が行くということを伝えてもらいたい。会計資料について、昨年度1年間のみずほ・ゆうちょ・金庫・学連の振替口座のお金の動きを示したもので、裏を見てもらうと昨年度末で2561万1102円というのが学連の資産ということになっている。これに関して何かあるか。決算などどうしても合わない部分があって3000円程度謎の黒字は出ている。厳密なことを言うと決算の資料と、収支の資料が合っていないのだが、収支の方は年度末で計算しているの6月等に払った昨年度分の精算が含まれていない。実際に決算の資料で見ると、赤字が-63万位で10万円程度赤字が多い計算となっているが、例えば昨年度の事務局の経費であるとかそのようなものがこの時点の数字には含まれていない。決算資料の赤字額よりも、収支のみ書いた資料の赤字の方が若干少なくなっている。
山川	会計関係で齋藤理事がいる時に切り出すべき議題を1つ残してしまったので今やりたい。今年からスプリントの正式種目が始まるということで、持ち回りのカップを作らなくてはならない。前は試行大会ということで自分のポケットマネーでレプリカに相当するものを購入した。今までのロングやミドル・リレーは一般参加も含めて全員参加ということで参加費を取っているの、持ち回りカップはそのときのインカレ実行委員会会計から支出していたが、スプリントに関しては、全員参加ではないし会計の規模が小さいので、2つで6万円程度の持ち回りカップをスプリント会計から単発で出すのは問題がある。スプリントの持ち回りカップに関しては、学連会計から支出するのが適当であると思うので、特に意見が無ければそのお金の支弁の決済をしてもらいたいと思う。
松浦	持ち回りということは、今年1回のみか。
山川	そうである。来年度以降のレプリカに関しては、各スプリントの実行委員会会計から出してもらおう。
五味	スプリントで一般クラスがないというのはどういうことか。
山川	スプリントはあくまでチャレンジクラスなので、スプリントの会計規模としてはたかが知れている。
五味	会計規模の問題ということで良いか。直接は関係ないが、どちらかというと持ち回りのカップをなぜ初回の実行委員会が負担しなければならないのかという方が疑問では

<p>山川 五味 大久保</p>	<p>あるが。どちらかという、ロングとミドル・リレーの時の方が不公平だったと思う。もう過ぎてしまったので仕方無いが。</p> <p>恐らくその頃は、学連の会計もインカレの会計もほとんど同一だったからではないかと思う。</p> <p>学連の会計からインカレプリントの持ち回りカップの購入費用を支出することに何か意見はあるか。無いようなら支出するということで決議したい。(→承認多数)</p> <p>先程の活動報告で抜けがあったので付け加えると、8月の中旬に、今年のプリント・ロングの資金貸出し50万円を行った。また、去年は勝手にやってしまったが、昨年の実行委員会があわら市から補助金をもらっていたらしく、その受け取りを日本学連の口座を使わせてほしいということで使用してもらったのだが、今後そのようなことがあった場合、会計だけの判断でやってしまっても良いのか。それとも、幹事長などに伝えてからやった方が良いのだろうか。あわら市からの補助金を受け取るには個人の口座ではなく、団体の口座でしか受け取れない状態であったので、手近にある学連の口座を使わせてほしいということだった。</p> <p>その辺は柔軟に行ってもらいたい。</p>
<p>・事務局</p>	
<p>－活動内容－</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加盟登録・追加登録 ・アイプリオ社への返答 ・JOAへの追加登録 ・加盟員名簿の作成 ・後援申請の受付 ・インカレプリント・ロングに関する自賠償保険のJOAへの申込み ・賛助会員名簿の受付 	
<p>－発言内容－（敬称略）</p>	
<p>新粥 山川 新粥</p>	<p>賛助会員の申込みは事務局が受け付けて、普及部に管理してもらっているが。各大会から問い合わせが来たときは事務局が受け付けて、事務局が情報を提供する。普及部を通す意味はあるのか疑問ということがある。または、賛助会員申込みフォームの送り先にして、普及部で一括管理でも良いかと思う。重い議題ではないが、追々賛助会員の情報の管理に関して整理したい。また事務局のアドレスが古く、重いファイルを添付すると事務局に届かない、添付しなくても届かないことがある。</p> <p>それは orienteering.com のメールアドレスか。40k バイトの制限がかけてある。送る方がそのことを知らずに、送ったメールが届いていないという事態が発生しているということか。</p> <p>そのような状況になることがある。エラーメッセージ等も出ないので、送り先からすれば送ったはずなのに、事務局には届いていないことがある。なんとか解消したいと思う。</p>

	<p>また、後援申請について、早大 OC 大会から書類が来ている・特に突っ込むところはないと思うが何かあれば意見を願いたい。(→特になし) 特にないようなので、承認を取らせてもらいたい。早大 OC 大会の後援申請を承認する方は挙手を願いたい。(→全員挙手) それでは全会一致で承認としたい。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業部
	<p>—活動内容—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回幹事会の会場準備 ・ 10/3 の総会会場準備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報
	<p>—活動内容—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 回幹事会議事録の作成 ・ 学連広報誌「いぶき」今年度第 1 号の発行 ・ 学連ホームページ、Twitter の管理
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普及部
	<p>—活動内容—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観戦ガイドの作成
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渉外部
	<p>—活動内容—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10 月分の矢板地区の回覧 ・ 山川氏の渉外活動内容の整理

11. 地区学連活動報告
・ 北東学連
—活動内容— ・ スプリント・ロングセレクションの実施 ・ 北東学連総会の開催
・ 関東学連
—活動内容— ・ 6/21(日)関東インカレ兼ロングセレクションの実施 ・ 7/4(土)第2回関東学連総会の開催 ・ 8/23(日)スプリントセレクションの実施(京葉OLに委託) ・ 9/8(火)第2回関東学連臨時総会の開催 ・ 9/9(水)関東学連新人戦(雨で中止) ・ 規約の改正 —今後の予定— ・ 10/10(土)関東学連総会開催予定
・ 北信越学連
—活動内容— ・ 7/11(土), 12(日)北信越交流会の開催 ・ 7/11(土)北信越学連総会の開催 ・ 9/5(土), 6(日)北信越合同合宿の開催 ・ 9/5(土)北信越学連総会の開催
・ 東海学連
—活動内容— ・ 6/20(土), 21(日)スプリントセレクション及びロングセレクションの実施 ・ 8/22(土)東海学連総会の開催 ・ ミドルセレクション実行委員会の立ち上げ
・ 関西学連
—活動内容— ・ 6/21(日)関西インカレ兼ロングセレクションの実施 第2回関西学連総会の開催 ・ 7/5(日)スプリントセレクションの実施 ・ 9/16(水)関西学連第2回定例戦の実施 ・ スプリントセレクション規約の作成中 —今後の予定— ・ 12/6(日)ミドルセレクション実施の予定

・ 中四国九州学連
ー活動内容ー
・ スプリント・ロング選手権出走者の決定

12. 次回幹事会について
次回幹事会は1/30(土)に開催。 次期幹事を連れて来る。